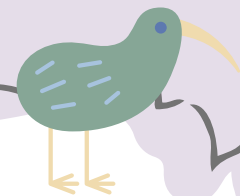


特別篇



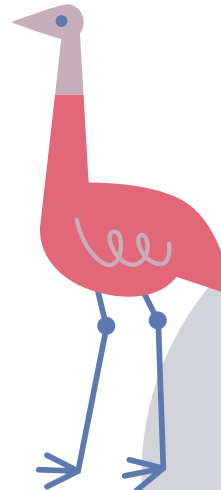
留学体験が保育の現場で力になる！ オーストラリア保育留学 制度について

留学ジャーナル 2025年8月号 特集 海外の大学で学びたい！
(2025年6月16日発売)より抜粋

こども教育宝仙大学の本留学制度は、その教育内容が評価され、2022・2023・2024・2025年度と4年連続で日本学生支援機構による「海外留学支援制度」(留学生に対し給付型奨学金が毎月支給される制度)に採択されました。

A&Q

よくある質問に
お答えします!



Q1

留学希望者は、
入学時から
申請する必要が
ありますか?

A 2年次の12月に
参加申請すればOK

オーストラリア保育留学は、2年次の秋学期に希望者を募ります。そして3年次から保育留学コースに進み、留学予定者向けのカリキュラムを履修するなど留学に備えます。

Q2

留学期間と
留学先について
詳しく教えて
ください。

A 4年次の11ヵ月間
ゴールドコーストへ

3年次の2月から4年次の12月までの11ヶ月間、オーストラリアに留学します。留学先は、こども教育宝仙大学と2015年から姉妹校協定を交わしているゴールドコーストのImagine Education Australiaです。同校は、英語学校、保育の専門学校、保育園も経営していることから、すべての留学プログラムをここで完結できます。まず、英語学校で15週間英語を学び、その後29週間の保育コースを受講します。同コースでは、160時間の保育実習も体験できます(2025年5月現在)。

Q3

こども教育宝仙
大学の国内の
履修はどうなり
ますか?

A 免許・資格取得に
必要な実習は
3年次までに修了します

通常4年次に行う幼稚園での教育実習を3年次に行い、すべての国内実習を3年次で修了したうえで、オーストラリアへ出発します。そして帰国後に卒業と同時に、国内の幼稚園教諭I種免許、保育士資格を取得します。このため、留学予定者は、3年次から保育留学コースに進み、専用のカリキュラムを履修します。

Q4

留学先での
滞在先や生活に
ついて教えて
ください。

A 最初はホームステイで
その後はセレクト可能

最初の10週間程度は、Imagine Educationが斡旋する現地家庭にホームステイをします。その後はホームステイの継続、 Condominiumやシェアハウスでの滞在选择が可能です。英語コースでは週5日間授業に参加します。その後、保育コースでは、週3日間、授業と実習に出席し、そのほかは自宅等で課題に取り組みます。現地では、Imagine Educationの日本人スタッフが留学生の相談に応じ、さまざまなサポートを行います。

Q5

留学先での
学費について
詳しく教えて
ください。

A 大学4年次の学費を
留学費用に充当

オーストラリアの語学学校と保育コースの授業料は、本学に納める4年次の学費を充当します。したがって留学参加者は、他の学生と4年間トータルの学費は変わりません(募集定員10名)。さらに本留学制度は発足以来4年連続で日本学生支援機構による「海外留学支援制度」に採択されています。このため2025年度も留学参加者に対して一人当たり毎月9万円の給付型奨学金が支給されます。

1935年に設立された仏教保育協会保母養成所を起源とし、その歴史を継承する4年制の保育系単科大学。これまで6,000名を超える卒業生を幼児教育・保育の現場に輩出してきた伝統と歴史を教育に活かしています。東京都中野区にある大学キャンパスは宝仙学園幼稚園に隣接。常に子どもたちを身近に感じながら、幼児教育についての学びを深めることができます。実践的なカリキュラムと充実した実習サポートが特長で、堅実な就職実績でも評価されています。

DATA

住所:東京都中野区中央2-33-26 TEL:03-3365-0267
アクセス:東京メトロ丸ノ内線/都営地下鉄大江戸線「中野坂上」駅より徒歩8分
<http://hosen.ac.jp>



こども教育宝仙大学

オーストラリア保育留学

こども教育宝仙大学ではじまった「オーストラリア保育留学制度」。日本の保育士資格と幼稚園教諭一種免許状に加え、オーストラリアの保育士資格Certificate IIIも取得できる。



こども教育宝仙大学
HOSEN COLLEGE OF CHILDHOOD EDUCATION



www.hosen.ac.jp

住所: 東京都中野区中央2-33-26
TEL: 03-3365-0267

3つのポイント ▶▶▶

オーストラリアの保育士資格
Certificate III を取得

11カ月の留学期間に規定のコースを修了すると保育専門学校卒業レベルにあたるCertificate IIIの資格を取得可能。

国内の資格取得&
就職活動もしっかりサポート

4年次の長期留学に向け、通常4年次の必修科目や保育実習と教育実習を3年次までに修了できる。

4年間の学費内で
オーストラリアでの留学が可能

語学学校+保育コースの授業料は、大学4年次の学費を充当する。渡航費や現地生活費は別途かかるが、他の学生と同じ学費で3つの資格取得と英語力習得他が可能になる(2025年5月現在)。

4年間で実現する保育留学
国内外の3つの免許・資格を取得

こども教育宝仙大学では、「保育」「保育留学」「こども心理」の3コース制を導入し、将来像に合わせた専門的な学びを深められるカリキュラムを展開している。1・2年次に保育の基礎や知識を身に付け、3年次から各コースを選択。自分に合った進路を見据え、より実践的で個性の高い学びへと進める。

なかでも注目が、日本とオーストラリアで学ぶ「保育留学コース」。留学をしても4年間で卒業できるよう単位修得の仕組みが整えられており、留学先の授業料も4年次の学費が充当される。このコースでは国内の幼稚園教諭1種免許状と保育士資格に加え、オーストラリアの保育士資格Certificate IIIと、国内外で3つの免許・資格の取得を目指す。Certificate IIIは、オーストラリアのチャイルドケアセンター(保育園)などで働く際に必須となる。この資格を取得すると、チャイルドケアセンターでアシスタント保育士としてクラスを受け持つことができる。

留学を通じて身につける、
保育者としての多角的な視野と自信

留学は3年次の2月から4年次の12月にかけて行われるため、留学に向けた準備は3年次より始まる。オーストラリアでは、まず15週間の語学研修を受講し、その後、週1日の実習と2日の保育学校に通う保育専門コースを29週間にわたり学修する。語学研修では、午前中に一般的な英語プログラム、午後にこども教育宝仙大学の学生向けに構成された特別プログラムを受講。クラスは習熟度別に編成され、会話や文法など、個々の得意・不得意を適切に伸ばし、補うことが可能だ。また、参加者は3年次までに保育実習・教育実習などすべての実習を修了す

とが明らかになりました。なかでも、自分の知識や能力に自信を持ち、自分ならできると考えるセルフ・エフィカシーや、困難な目標の達成に向け、粘り強く意欲的に取り組む達成意欲が大きく変化しています。

近年、保育の現場では、文化や言語、宗教など、さまざまな背景への理解と対応力が保育者に求められている。日本の、当たり前が通じない場面でも臨機応変に対応し、相手を尊重しながら保育を実践する姿勢は、今後ますます重要になる。留学を通じて多文化に触れ、多様性を肌で感じる体験は、子どもに寄り添う保育観を深めるだけでなく、違いを受け入れ、多様な背景に配慮できる柔軟で開かれた視点を育む大きなきっかけとなるだろう。

*Emotional Intelligence Quotient 心の知能指数

長期留学経験者



留学
経験者
卒業生
オーストラリアの保育園勤務
柴山 怜さん

オーストラリアの保育園で4・5歳児クラスの補助として勤務しています。留学を通じて相手の文化を理解することの大切さを学びました。日々の保育でも、異なる文化的背景を受け入れ尊重しています。今後は担任としてクラスを受け持つことやプリスクールやキンダーガーデンで働くことを目指し、より高度な資格取得に挑戦する予定です。



留学中
こども教育宝仙大学 4年生
深井 夏美さん

最初は何をするにも緊張していましたが、今では楽しめるようになりました。学校では、自分から積極的に意見を伝えるよう心がけています。先生も友達もとても親切で、毎日楽しく学んでいます。休日は友達と買い物をしたり、おいしいものを食べたりしています。友達と過ごす休日はとても楽しく、あっという間に時間が過ぎてしまいます。

オーストラリア保育留学の学びの流れ

	1st year		2nd year		3rd year		4th year	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
日本	保育の現場を知る		保育の現場を知る		保育実習、教育実習		オーストラリアでの保育実習	
	基礎ゼミ開始 幼児教育・保育・児童福祉に関する基礎・基本を学ぶ。幼稚園、児童養護施設等での体験学習も行う		2年ゼミ所属 隣接する宝仙学園幼稚園での体験学習や保育所見学を経て、2週間の「保育実習I(保育所)」に行く		留学ゼミ所属 「教育実習(幼)」、「保育実習I(施設)」、「保育実習IIかIII(保育所or施設)」に行き、免許取得のための実習を終える		留学ゼミ所属 教員による現地実習訪問、対面面談、オンラインによる卒論指導	
オーストラリア								
					2月渡豪 語学研修 (15週間)		12月帰国 保育専門コース (29週間)	



約2週間の短期留学プログラムもある。英語研修のほか、保育施設での実習体験や、途中でレクリエーションも行う

「留学中、学生は日本語と英語の両方で記述した総日記を月に2回提出します。月1回のオンラインミーティングで学生全員が集まり、情報交換を行うとともに、個人面談も毎月実施。さらに留学経験者によるメンター制度も整備しています。留学前から帰国後まで、切れ目のないサポートを提供しています。2024年度は留学を経てオーストラリアの保育園に就職した学生もいます」

そう語るのは、保育留学コースを担当する松崎真実准教授。学生一人ひとりに寄り添った丁寧なサポート体制は、このコースの大きな特長の一つ。また、留学制度の整った環境で学びを積み重ねるだけでなく、学生たちは精神的にも大きな成長を遂げているという。こども教育学部の石川悦子教授も、学生の著しい成長に注目している。



研修に向け幼稚園を視察

2025年度から ニュージーランド保育留学も開始

ニュージーランド(NZ)では、「テ・ファリキ」と呼ばれる世界で注目を集める幼児教育カリキュラムに基づき、子どもに寄り添った教育を実践している。保育士は子どもの育ちを丁寧に観察し、「ラーニングストーリー」と呼ばれる記録に成長の過程を綴っている。これは日記ではなく、子どもの内面や発達を言語化する専門的な記録である。また、マオリ文化と英語文化が共存するNZでは、多文化・多言語を尊重する教育が根づいており、子どもたちは互いの違いを自然に受け入れる環境で育っている。

こうした先進的な保育を学ぶため、語学研修と保育体験を組み合わせたプログラムが始まる。「文化の違いを実感しながら保育を学ぶことは、より豊かな価値観を育むことができます。また、NZでは日本の保育士資格と一定の英語力があれば現地での就労も可能。将来の選択肢が広がる点も、この研修の魅力です」と、研修を担当する本多舞先生は語る。